

# すわみつえ通信

No.122 2020年5月4日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

## 新型コロナ市の対策

事業者方々の一刻の猶予もない事態を市に届けました

鴻巣市独自の緊急支援を決定!

新型コロナ感染予防のため外出自粛(フレイホーム)が呼びかけられ、市内の飲食店と大型ホームセンターの「休業」のお知らせが目立ちます。生業継続に一刻の猶予もない事業者の事態を市に届けてきました。日本共産党鴻巣市委員会は4月30日に、市内の団体、新日本婦人の会鴻巣支部、年金者組合鴻巣支部、桶川北本民商、埼玉土建中部支部とともに、PCR検査体制の拡充やDV・子ども虐待などの相談体制、中小業者や個人事業者に対する支援などの要望書を提出し、市と懇談をしました。

皆さんとともに繰り返し声を上げてきたことで、鴻巣市独自の施策として埼玉県(裏面で紹介)につながったと思います。希望が持てて前を向けるような施策が実現できるよう今後も力をつくします。

## 事業継続緊急支援

(詳細は5月13日頃の案内)

### ○小規模事業者等 支援給付金

2020年2月以降の売上が前年同月比5%以上減少した市内小規模事業者等に最大10万円を支給。

### ○家賃支援給付金

2020年2月以降の売上が前年同月比5%以上減少した市内小規模事業所および個人事業主等に家賃(テナント料)を最大5万円支給。



## 飲食店緊急支援

(詳細は5月13日頃の案内)

### ○テイクアウト等 支援補助金

市内飲食業者がテイクアウトやデリバリー等の事業を実施するための必要な経費について、5万円を上限に補助。

【対象経費】チラシ印刷、容器等購入費、配達の燃料費等



## 子育て世帯緊急支援

(5月29日に給付予定)

### ○ひとり親家庭等 緊急支援給付金

児童扶養手当受給世帯(2020年4月分受給者で生活保護受給世帯以外)の対象児童1人につき3万円を支給。

## 「国の特別定額給付金(一律10万円)申請書発送始まる

- ◆ 5月15日(金)より申請書類の発送を行います。
- ◆ 5月18日(月)より申請書の受付をします。  
※オンライン申請は5月7日から
- ◆ 5月下旬から順次給付します。
- ◆ 5月11日(月)にコールセンターを開設します。  
(平日9時~17時)  
コールセンター TEL:048-543-7651

## 俳句コーナー

コロナ禍や励ましおうて  
生き抜かん

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

\*5月10日(日)まで駅頭でのお届けはありません。

家にいよう。みんなで打ち克とう。熊本市

# 籠城じゃ。

外出自粛を求める熊本城のポスター



「ステイホームも加藤清正公ならこう言ったでしょう。『籠城じゃ』」。熊本市の大西一史市長が、熊本城の写真とともに外出自粛を呼び掛けるポスターの画像をツイッターに投稿し、話題を集めている。新型コロナウイルス対策に活用してもらおうと、熊本にゆかりがあるカメラマンらがポスターを製作し、市に無償で提供した。

市によると、ポスターは庁舎などに張る予定で、画像データは企業や個人も自由に利用できる。

(共同通信 4月28日付)

「ステイホーム」の一日に、日本国憲法の前文を読み返してみる。

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」

古さはない。コロナ禍のあと、疲弊した世界は各国がいつそう自国主義に傾斜し、国際協調は退潮するという予測がある。今こそこの文言を理念の羅針盤として磨きあげるときではないか。そんな話をするのはまだ早すぎるだろうか。

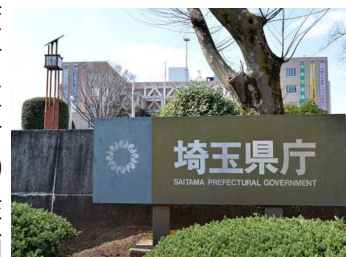
ドイツのメイケル首相の言葉を一つ拝借してみたい。「今は、距離だけが思いやりの表現なのです」。そう、今は、少しだけ気持ちが軽くなつて、心に風が吹いてくる。

朝日新聞 5月3日付  
「日曜に想う」から一部掲載

## 新型コロナ対策で埼玉県が511億円の補正予算を臨時県議会で可決

国の緊急経済対策に対応し、新型コロナウイルス感染症拡大の防止や県内事業者等への支援策を盛り込んだ総額511億円余の今年度一般会計補正予算案が4月30日に臨時県議会で可決されました。

【日本共産党埼玉県委員会】



### 医療体制の強化 中小企業や個人事業主への支援

## 主な支援策

- 県民サポートセンターの電話を5回線増やして13回線に増設する。**相談件数が増えるなか、相談体制を拡充する。
- 郡市医師会の協力を得て、発熱外来PCRセンターを県内23ヶ所に整備する。**一医師会に月300万円(医師、看護師、事務員3人分の人件費とドーム型テントリース等の補助)
- PCR検査を待つ「疑い患者」が入院できる病床を90床整備する。**現在は、結果を自宅で待っている状況であるため、90床入院ベッド確保にむけ個別に依頼中。
- 中小企業業者や個人事業主に対する休業支援の現金給付を実施する。**4月8日から5月6日までの間20日以上休業した中小企業、個人事業主に20万円支給する。  
(申請の弾力的運用などが全会一致で可決)

朝日新聞 4月21日付

## 天 声 人 語

このごろ昼夜を問わず気になるのは、人との距離の取り方である。レジで間隔を詰めすぎているのか、電車内で座る位置は適切か。他人との間合いをこれほど意識したことはない▼感染拡大を防ぐにはどれほどの距離を取るべきなのか。厚労省が推奨するのは2メートル。国によって数値にばらつきがあるものの、一目でわかるようフェンスやドア1枚で距離感を表す図案が次々出てきた▼ソーシャルディスタンス(社会的距離の保持)はいまや世界共通語になった。世界保健機関(WHO)は先ごろ、これをフイジカルディスタンス(身体的距離の保持)と言い換えた。「体は離れても心の結びつきは失わないで」と担当官。寄るな、触るなという訴えが先行したが、だれも孤立させることなく難局を乗り切りたい▼パーソナルスペースという概念が目玉されたのは半世紀前。だれしもが他人との境界線を心に持ち、一説にその距離は1・2メートル以上。疫病が広がれば、その境界線は変えるほかあるまい▼「離れることがつながら続ける最良の方法」。コカ・コーラは広告で商標の文字間を大きく空けた。ベンツやマクドナルドも同様の工夫をロゴに施し、対人距離を取るよう訴える▼ご覧の通り、当欄も本日は、文字間を広げた題字に替えてみた。地球規模の呼びかけに賛同しての初の試みで、本文は16文字短く。書き写していただく際、不都合が生じるとは思いますが、何とぞご了承下さい。